



▲恵比須様の前に、笑顔で並ぶ子どもたち

歩いて二江の魅力再発見！

～二江ぐるっとウォーク～

6/1

五和

6月1日、五和町二江地区を散策する「二江ぐるっとウォーク」が開催されました。二江まちづくり振興会（山下新吾会長）の主催。通詞島をスタートし、各地区に祭られている恵比須様を訪ね、最後に漁船で通詞島に戻るコースで、地区住民など約130人の参加者は、潮風を受けながらこち良い汗を流しました。また、コース途中には、青空写真展として約30～50年前の二江地区の風景写真が展示され、懐かしそうに見入っている参加者もいました。



▲白熱した試合が繰り広げられました

白熱した試合に大声援！

～かわうらエンジョイミニバレーボール大会～

6/1

河浦

河浦まちづくり協議会（松尾良司会長）主催による「第15回かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が6月1日、河浦中央体育館で開催されました。この大会には、40歳以上男子・女子、40歳未満女子、50歳以上の男女混合の4つの部門に57チーム390人が参加。各チームとも日ごろの練習の成果を発揮し、白熱した試合を繰り広げ、選手たちの元気な声と、駆けつけた応援団からの大きな声援が響き渡っていました。



▲1個(100g)2,000円で販売中の「天草藍物語」

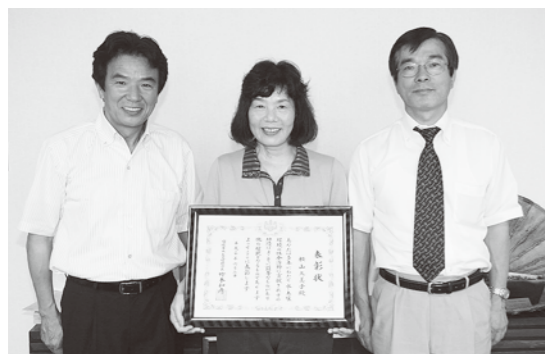
海藻が原料の“せっけん”誕生！

～せっけん「天草藍物語」販売開始～

6/1

五和

天草漁協では、海藻“クロメ”を原料にしたせっけん「天草藍物語」の販売を6月から始めました。原料となるクロメは、五和町鬼池の漁業者でつくる鬼池クロメ組合（佐藤盛親会長）が日本で初めて養殖に成功し育てたもの。抗菌効果などを持つポリフェノールが多く含まれているのが特徴です。また、海藻特有のヌルヌルしたアルギン酸という成分の特性から、保湿効果があるといわれています。「天草藍物語」についての詳細は同漁協五和支所☎0211へ。



▲伝達式終了後に記念撮影。写真左から安田市長、横山さん、橋本透・県水環境課審議員

受賞おめでとうございます

～横山久美子さんが「水・土壌環境保全活動功労者表彰」受賞～

6/2

本渡

6月2日、横山久美子さん（亀場町亀川・57歳）が「水・土壌環境保全活動功労者表彰」（環境省水・大気環境局長表彰）を受賞され、同10日、市役所で伝達式が行われました。同表彰の受賞は県内初。横山さんは、平成14年から生活排水対策普及啓発指導員を務められており、亀川の水質調査を毎月1回実施。また、洗剤を使わずに油污れが落ちるアクリルたわしや、廃油せっけんの作製・配布などの取り組みが高く評価され、今回の受賞となりました。



Treasure Island Topics 宝島の話



▲水田にアイガモのヒナを放す子どもたち

環境に優しい米づくりに向けて

～アイガモ農法による米の試験栽培始まる～

5/21

牛深

二浦町亀浦地区の農地・水・環境保全向上対策協議会が、環境に優しい米づくりの先進的な取り組みとして「アイガモ農法」による試験栽培を始めました。同地区は、以前から減農薬の農作物栽培などに取り組んでおり、平成19年度には農林水産省の「農地・水・環境保全向上対策事業」の実施地域に指定されています。5月21日には、二浦小学校と亀浦保育園の子どもたちが参加し、生後30日のアイガモのヒナ36羽を約20アールの水田に放しました。



▲水消火器を使った訓練を行う参加者

安全で安心して暮らせるまちを目ざして

～栖本地区防災訓練～

5/25

栖本

5月25日、「栖本地区防災訓練」を同町内12地区一斉に実施しました。これは、栖本地区自主防災会と市消防団栖本方面隊、栖本支所が初めて実施したものです。訓練には、地区住民約1,000人が参加。天草灘を震源とする海底地震が発生し、甚大な被害が起きたとの想定で、栖本支所に設置された災害対策部と連携を取りながら避難訓練を実施。また、消火訓練や炊出し訓練など、みんなで協力しながら、万一の災害に備えて真剣に取り組んでいました。



▲子どもたちが炭の切り分け作業を行いました

福連木の伝統などを学ぶ

～炭焼き体験～

5/25

天草

5月25日、福連木小学校で炭焼き体験が行われました。これは、地域住民との共同活動により、先達の心や伝統、働くことの大切さなどを学ぼうと毎年実施しているものです。当日は、同校の児童・教員やPTA・地区振興会の関係者ら約60人が参加し、窯出しや袋詰め、かしの木の切り出し、火入れ作業を行いました。焼きあがった約230kgの炭は、福連木子守唄まつりなどで販売し、売上金は図書購入や市社会福祉協議会への寄付に充てられます。